

3月の星空情報

2024年 3月 1日

発行 黒石すばるの会

<http://subaru9614.dip.jp/>

○月はじめは 21時ころ ○10日前後は 20時20分ころ
 ○20日前後は 19時40分ころ ○月まつは 19時ころ

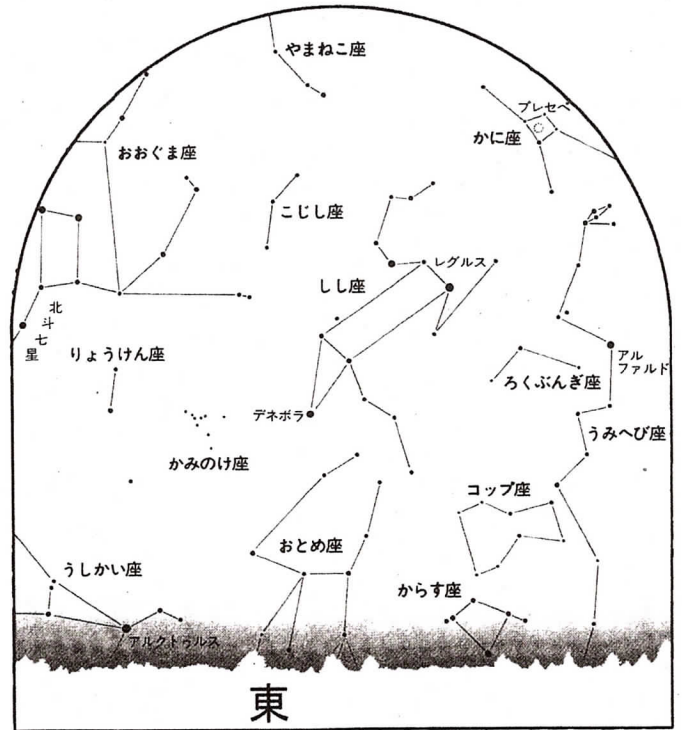
東の星空

東の中天（頭の真上と地平線のほぼ中間）にはしし座が勢いよくのぼってきました。

獅子の頭から胸にかけての部分を示す「？」を裏がえしたところには、心臓を表す1等星のレグルスがあります。

レグルスは21個ある1等星のうちで二番目に暗い星ですが、それでも、太陽の130倍も強い光を出しています。

しし座の下には春の代表的な星座である大きなおとめ座がのぼってきました。



西の星空

おうし座の牛が2本の角をまっすぐ上に向けている姿がとても目立ちます。

その雄牛を追っているようなオリオン座や、将棋の駒のような形をしたぎよしや座など、冬の星座たちがまだ宵の西空に残っています。

「ぎよしや」は漢字では「御者」とか「馭者」と書き、馬を引く人を意味します。この星座で目立つのは黄色味をした1等星のカペラです。カペラは老人に抱かれた小さな山羊を表しています。

冬の星座たちとともに長らく観測できていた木星も、そろそろ見納めとなります。次に木星が見やすくなるのは今年の11月頃になります。

